

学校教育目標	「笑顔と学びあい」 ○経験を活かし、自主的実践的に問題を解決していく力を育てます。(知) ○互いのよさを認め合い、人を思いやる態度を育てます。(徳) ○自他の生命を大切に作る心や健やかな体を育てます。(体) ○よりよい社会を創造しようとする態度を育てます。(公) ○持続可能な社会の実現に向けて行動しようとする態度を育てます。(開)				
	学校概要	創立 51 周年	学校長 定岡 孝治	副校長 関口 義和	3 学期制
児童生徒数： 372 人		主な関係校： 洋光台第一小学校、洋光台第三小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	洋光台第一中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 【自己肯定感】 【コミュニケーション】 【まちを愛する態度・社会参画】	洋光台第一中学校 洋光台第一小学校 洋光台第三小学校	①「洋光台のまち」を大切にする子ども②自尊感情を高めていく子ども③楽しく学習に取り組む子ども ①学校運営協議会をブロック合同で行い、互いの課題や重点研究の情報を共有し、地域で関わり合いながら、地域に貢献する子どもを育成する。②ブロック合同で人権研修を行い、他人の気持ちを考えて行動し自尊感情を高めていく子どもを育成する。③9年間を見通したカリキュラムの作成や小中合同授業研究会を行い、小中一貫教育カリキュラムの授業を通し、楽しく主体的に学習に取り組む子どもを育成する。

中期取組目標	○「チーム洋光台第一中」として全教職員で活力と魅力ある学校づくりを目指します。 ・生徒を中心とした教育活動を推進します。 ・人権に配慮した教育活動を推進します。 ・生徒が魅力を感じる授業づくりを目指します。 ・生徒が笑顔で安心して生活できる人間関係づくりを目指します。 ・生徒・保護者・地域から信頼される学校づくりを目指します。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①基礎・基本の定着を図るべく、学力・学習状況調査などの結果と支援教育の視点を踏まえた「わかる授業」を目指す。 ②小中一貫合同授業研究会を通して、9年間を見すえたカリキュラムマネジメントを図る ③各教科等で主体的・対話的な深い学びが可能となる授業を目指す
担当	教科・学習係	
徳	道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科の授業を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育を推進し、一人ひとりの個性を認め合える学校づくりを行う。 ②特に特別活動や総合的な学習の時間との関連を重視し、豊かな体験を通して学ぶ機会を設定する。
担当	道徳・人権・国際理解係	
体	健康教育・食育	①生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上が実現できるよう保健体育科の授業改善を図るとともに、体育大会を生徒が主体になって運営できるようにする。②プロスポーツに関わるコーチの実演 や食育の話にふれることで、自らの健康に対する意識を高め、食生活を改善していこうとする態度を育てる。
担当	保健体育・養護・食育	
公 開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①職業講話や職業体験等を通し、社会のしくみや働くことの意義への理解を深め、自己の生き方や実現したい目標について考えるきっかけを作る。 ②卒業後の具体的な姿を描き、よりよい進路選択ができるよう、家庭への進路に関する研修会をそのニーズに応じた形で実施する。
担当	総合の時間係、特別活動指導部	
いじめへの対応		①いじめ防止対策委員会を定期的(月1回以上)に実施し、いじめの認知、再発防止、未然防止の検討を行う。いじめについては生徒の心情に寄り添って積極的に認知する。 ②本校におけるいじめ防止基本方針の内容を職員が理解し、早期発見、早期対応が組織的にいける体制づくりに努める。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①自らのスキルアップにつながる研修への参加を促すとともに、経験豊富な職員が経験の浅い職員の授業を参観し、助言を与えることで授業力の向上を目指す。 ②メンターチーム研修には参加者の意向を反映させつつ、即時性・適時性を重視した内容で実施する。 ③時間外の対応や会議内容の精選を進め、ICTを活用した事務効率化・情報共有化を図り、組織的働き方改革につなげる。
担当	メンターチーム係、研修企画係、教務係	
地域学校 協働活動		①義務教育9年間で育成を目指す資質・能力が確実に身に付くよう、地域、家庭、学校が目標を共有し充実した教育活動を展開するために、学校運営協議会、地域学校協働本部と連携し、地域の方の教育活動の参画をさらに推進する。 ②地域の祭礼行事やイベントで、生徒が積極的にボランティア活動ができるように働きかける。
担当	教務部、生徒指導専任	
特別支援教育		①校内特別支援委員会等を定期的開催し、多様な学びが必要な生徒に対し、認知や情動について実態を把握し、支援の方法を検討する。 ②一般学級と個別支援学級・通級指導教室の連携強化に向け、合同打ち合わせを積極的に行う。 ③特別支援教室の環境整備・運営を全職員で行い、誰一人取り残すことなく、授業に参加できるように取り組む。
担当	特別支援教育委員会	
生徒指導		①教育相談期間を設けたり、日頃から声かけを行ったりするなど、生徒一人ひとりに寄り添った生徒指導に組織的に取り組む。 ②職員間の報告・連絡・相談を密にすることで生徒の状況を全体で把握し、具体的な支援・指導を実践するため組織的に対応する。 ③学校のきまりについては現在の社会情勢に沿うものであるか検討するとともに、生徒自らが考え、話し合う機会を設定する。
担当	生徒指導部	
安全管理		①感染症拡大期における地震や火災などを想定した避難訓練を計画的に実施していく。 ②地域や関係機関と連携して、生活安全、災害安全、交通安全に関する取り組みを計画的に行う。
担当	保健安全指導部	